

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1A	宇田 隆幸	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1B	内田 亨	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1C	上西園 武良	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1D	小宮山 智志	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1E	佐々木 桐子	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1F	佐々木 宏之	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1G	白井 健二	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1H	高木 義和	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1I	土屋 翔	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
基礎ゼミナール 1J	藤田 美幸	2	前期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ 1 では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを 1 年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて 4 時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1 クラス 15 名程度）で実施する。各クラスを教員 1 名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を 100 点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410034	X-31-B-1-410034			【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース			
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
基礎ゼミ1では、次の事項をテーマにします。							
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生活に慣れる（連絡や通信手段の習得・学内の教育環境や設備の把握・友人との協同関係の構築） ・大学での学修を知り、本ゼミで習得したことを1年次後期以降の履修にて実践できる力を養う 							
具体的には、メールやポータルの利用方法、講義におけるノートの取り方、図書館の利用方法、グループワークにて「特定テーマにおける課題発見、調査、課題解決方法検討、検討結果の評価、結果報告（プレゼンテーション）、小論文作成」などを実施します。							
内容							
下記の項目を実施する。ただし、各クラスで具体的内容や順序が若干異なる。							
<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導 ・アイスブレーク ・教員・学生間の通信手段の確保（メール、ポータル） ・図書館利用のガイダンス ・グループワーク ・コース選択（情報・経営）の指導 ・その他（担当教員の独自実施項目） 							
【毎回予習・復習に合わせて4時間】							
使用予定テキスト							
なし。							
ゼミの進め方							
本演習は、入学直後の学生ができるだけ速やかに大学の環境に適応し、適正な学習・生活リズムを獲得することを主眼としている。さらに、他者との協業（グループワーク）を通じて問題解決能力の獲得すること、前期の終盤に実施されるコース選択（情報・経営）を適正に行えることも目的としている。演習は少人数のクラス（1クラス15名程度）で実施する。各クラスを教員1名が担当し、学生と教員および学生同士の密接なコミュニケーションをすすめる場としても活用する。							
成績評価基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施するプレゼンテーション、チーム作業、レポートなどに点数を付け、合計点を100点満点に換算して評価する。 ・フィードバック：プレゼンテーションは改善点を見出すため全員で評価し、その後改善を実施する。 							
ゼミ選択上のアドバイス							
特になし							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習